No. 143 R8.10.30

きたかみ市議会だより

北上市議会を知る・読み解く広報紙

FOCUS

北上市議会ホームページ

スマホアプリ マチイロ

議会だより【デジタル版】を無料アプリ「マチイロ」や「ホームページ」で掲載しています。【デジタル版】なら自宅に届くよりも３週間ほど早くご覧いただくことができます。



令和７年度決算認定

新たな取り組み 予算提言

～令和９年度の予算に決算審査を活かす～

P. 3

大学整備候補地 調査費に賛否白熱!

●市民ワークショップ　●基本的条件調査

P. 6

9月通常会議

一般質問14人

髙橋久美子 議員　高橋　孝二 議員　藤原　慶 議員
千田　優子 議員　藤田　民生 議員　安徳壽美子 議員
八重樫民徳 議員　藤原　常雄 議員　田島　清美 議員
佐々木　護 議員　高橋　晃大 議員　平野　明紀 議員
小原　享子 議員　熊谷　浩紀 議員

Pick up!!



令和７年度決算 注目事業はコレ！

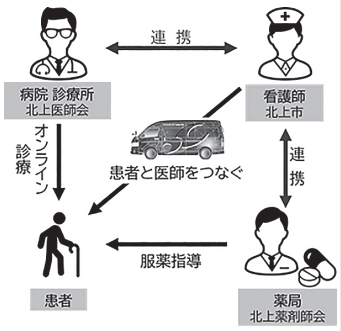
一般会計、特別会計、下水道事業会計について、決算特別委員会の３つの分科会で令和７年度の市の決算を詳しく審査しました。
予算の使い方が適切だったか、効果や効率はどうだったかなどを審査する中で議員からどのような質疑があったのか、その内容について紹介します。

＊各事業の決算額は１万円未満を四捨五入しています。

モバイルクリニック推進事業

看護師が同乗する移動診療車が患者宅を訪問し、オンライン診療を行った。

決算額　3,002万円



▲モバイルクリニック
イメージ図

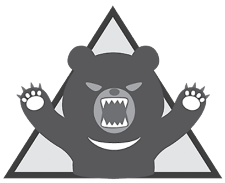
Q 利用回数が令和６年度の82回から256回に大きく伸びているが、実利用者数は。

A 実利用者は47名だった。このうち10名ほどは、対象エリア８地区以外の通院困難者が医師の判断により利用した。

鳥獣被害対策事業

鳥獣被害を防止するため、広報活動や追い払い、緊急銃猟の準備などを行った。

決算額　654万円



クマ出没注意!!

Q 住宅街などにわなを設置した場合、設置場所や捕獲・駆除の情報は市民に公開されないのか。

A わなの設置場所や駆除結果は積極的に情報発信していない。わなの場所を公開するとで住民が見に行く危険性や、捕獲されたことを知ると住民の警戒心が緩むおそれがあること、人が集まることでわなに掛からなくなる懸念があるため。

介護人材養成事業費補助金

市内の介護サービス事業所などの人材確保に向け、市内養成施設の学生に修学費用を補助した。

決算額　894万円



Q 補助金利用者の卒業後の市内介護サービス事業所などへの定着率は把握しているのか。

A 令和７年度の卒業生10人が市内に就職した。過去の補助金利用者の定着率は詳しく調査していないが、介護サービス事業者からはおおむね８割程度は定着しているのではと伺っている。

各種大会参加事業費補助金

東北大会規模以上の大会に出場する市民を対象に、交通費、宿泊費を補助した。

決算額　319万円



Q 県大会の規模要件によっては補助金の交付が受けられず、出場者や保護者の金銭負担が大きくなっているが、どう捉えているか。

A 出場選考大会の参加チーム数が８チーム以上であることが補助要件となっている。年々、参加チーム数が減少している競技も増えており、補助要件の見直しを検討する必要があると捉えている。

市内高校等下宿等利用支援事業

市内の下宿などを利用して市内の高校などに通学する学生に、月額１万円を補助した。



決算額　2,794万円

Q
利用者の人数は。また、補助対象の生徒はどこから来ている方が多いかなど、傾向は把握しているか。

A
補助対象者は247名だった。県内であれば沿岸および県北地域から来ている方が多い。

防災備蓄品整備事業

防災備蓄品の購入や配備を行った。



決算額　391万円

Q
国のガイドラインなどで、災害時に必要とされる携帯トイレは１人当たり３日分で15個であるが、市の備蓄量は。

A
令和７年度は9,600個を購入し、現在32,800個を確保しており、令和９年度までに目標備蓄量に到達できる見込みである。

ツインモールプラザ再生事業

ツインモールプラザ再生のため、事業者公募支援や土地建物の購入、所有権移転登記などを行った。



決算額　10億808万円

Q
マスターリース事業者に修繕費負担金約１億円をあらかじめ支払うこととした理由と、その費用の算定根拠はどのようになっているか。

A
市が直接管理する場合の経費を公募前に示し、参入のハードルを下げて事業者の投資を促すため。不動産鑑定評価で算定した10年分の修繕経費約3.6億円を基にしている。

地域づくり交付金

16地区の地域づくり組織が地域計画に基づき主体的に行う地域づくり事業に対し財政支援として交付した。



決算額　2億6,832万円

Q
昨年度より3,200万円ほど増加しているが、その要因は。

A
地域づくり組織職員のモデル賃金を導入し、人件費の増額を行ったことによるもので、16地区に対し、１地区あたり約200万円を増額した。

『初の取り組み』　議会から提言５項目

令和９年度予算に対する提言を提出

◀詳細はこちら







令和７年度決算審議後、議会から令和９年度予算編成に対する提言５項目を発議しました。全会一致で可決し、菊池議長（左）から八重樫市長に提出しました。

提言1　子ども・妊産婦医療費給付事業
妊産婦に対する医療費給付の所得制限撤廃をすること。

提言2　モバイルクリニック推進事業
無医地区を優先しつつ、無医地区以外での医師からの紹介による利用拡大を推進すること。

提言3　主食用米等作付転換支援事業
令和８年度終了予定だが、令和９年度予算で再開し継続すること。

提言4　生活道路等整備事業
遅れが出ている生活道路の整備を計画通り完了させるための予算拡充をすること。

提言5　各種大会参加事業費補助金
出場選考大会の参加チーム数などの補助要件の緩和をすること。